

市指定文化財<工芸品>

おんまつばやしおのうぞくのうめんいしょうとういっしき 御松囃子御能に属する能面衣装等一式

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市隈府 菊池神社



能面については、宝暦7年(1757)の『菊池松囃子起源書』に「征西將軍より隈府町能座中へ、翁の面(春日の作)・瘦男の面(非美の作)を下賜された」と記録されている。現在、保存されている面は12面で、般若・黒色尉(三番叟)・白色尉(翁)・三光尉・小牛尉・瘦男・増女・小面・平太・小飛出・猿・黒尉である。数百年経った今でも能面の表情は生き生きとして、人々の深い悲しみ、驚き、絶望、怒り、喜び・・・それらが見る人の心情に強く迫ってくるようである。古雅な品位と端麗な美しさをそなえた名品である。

起源書には「衣装・笛・鼓・大小太鼓、一切道具 右の内紛失の物数多」とある。衣装の朱色の生絹袴の腰板に「享和2年(1802)戌四月隈府町本座中寄進」と記されたものがある。また麻の肩衣に「ウンスンカルタ」が図案化して描かれているのは珍しい。